

## 今後の調査・検討について

平成13年5月24日

1．現在、分野別推進戦略の作成に向けて、各分野別のプロジェクトにおいて、鋭意検討が行われているところであるが、現時点における各分野の現状と課題、重点化の考え方は資料1-1の通りである。

今後、平成14年度において重点的に推進すべき事項について、さらに絞込みを進めるが、その際、

経済の活性化  
高齢化社会での質の高い生活  
循環型社会の実現  
都市基盤の整備

等の視点からも検討を行い、国民に分かりやすいメッセージとしてとりまとめる。

なお、絞込みに当たっては、

- ・研究成果の社会・産業へのスピードある還元
- ・各省・各機関の取組みを統合し、達成する政策課題と期間、必要な研究資源の明確化、
- ・知的財産権・国際標準の取得方策の明示
- ・次世代のブレークスルーをもたらす基礎研究、萌芽的な分野融合領域への先見的な投資
- ・計測、解析、評価技術、データベース、実験材料等の研究基盤の整備といった取り組みに配慮する。

2．なお、本年3月30日に閣議決定された科学技術基本計画において、「科学技術の戦略的重点化」として、上記の国家的・社会的課題に対応した研究開発の重点化に加え、基礎研究の推進、急速に発展し得る領域への対応が位置付けられている。

3．また、平成14年度において重点的に推進すべき事項として、大学の施設整備、競争的資金についても、現在、重点分野推進戦略専門調査会及び科学技術システム改革専門調査会において検討が行われている。